



▲室内はロッキーオート RHV の時とは違い、丸メーターにメッキリムという作りでシフトの中にも高性能を発揮するデザインで好感が持てるもの。ステアリングの大きさもなかなか良い



▲この車両は2J-Z NAでオートマミッション。気兼ねなくスムーズに乗りたい人にはうってつけて、現代型のパーツなのでトラブルの心配もないだろう



▲タコとスピードメーターはなんとスミスのメーター。このメーターに憧れる人は多いだろう



▲追加メーターはオートメーターで、緑取りを追加。空調コントロールユニットの上にある吹き出し口の間には針式のアナログ時計を装着



▲シートは製作したもので座り心地も良好。上のトランクもこれだけ広ければ十分



石川編集長の  
乗ってみなきゃ  
わかんね-ゾ!!  
+  
プラス  
Daiの  
乗ってみなきゃ  
わかんね-ゾ!!

# ロッキーオート 3000GT編

カッコ良さは写真を見れば分かるけど、乗り味やパワー感はエンジンスペックや足まわりの数値等を見て判断するしかない…それでは物足りない!! という人に向けた”石川編集長の乗ってみなきゃわかんね-ゾ”コーナーは、実際に乗ってみてその感想を率直に分かりやすく話すページだ!! 今回は世間をあっと思かされたロッキーオートのRHVのガソリンエンジン版と言えるロッキーオート3000GTだ

# いよいよトヨタ2J-Z エンジン搭載車登場!!



▲ロッキーオートRHVの時とはFFでどうしても前のタイヤ軸より前にかたまりが来ってしまう構造と、エンジンの全高もあつたため前から見るとエンジン下部が少し見えてしまう感じだったが、今回の3000GTはエンジンは縦積みのため前から見てもスマートに見える



# エンジン

▲基本的に2J-Z(NA)が搭載され、トヨタ車同等のノーマルパーツ、ランジェターなどの補機類を組み込まれている



▲エアクリナーは拘りの左サイドにあるのでそこにつなぐパイピングをアルミで製作



▲マフラーもトヨタ2000GTのようなツインセンター出し。かなり低い低い音がしていた

**やっぱりガソリン!!  
待望の登場だぞ!!!**  
ロッキーオートRHVの発表や試乗時にもお伝えしたとおり、このトヨタ2000GTを忠実に再現されたボディにガソリンエンジンが搭載されるということは、すでにこのクルマに興味を持っている人は知っているだろう。というか、オーダーも始まっていてガソリンエンジン搭載車はかなりの数オーダーが入っているとロッキーオート渡辺社長は教えてくれた。そのような期待の星!?であるガソリンエンジン搭載の今回発表された「ロッキーオート3000GT」。発表日もトヨタ2000GTの記念日に合わせ、しかも50周年というメモリアル

今回の来賓である開発の方々も「野崎ラインがきちんと出ている」と太鼓判を押す、ロッキーオート3000GT。確かにこの独特の形状は日本車離れというか独自のものが現在でも心揺さぶるデザイン  
デーに、ロッキーオートの新しい工場兼展示場でもある会場で行われた。  
当日はトヨタ自動車でもトヨタ2000GTを開発した3人が集まるという貴重なもので、なんとトークショーも開催。話を

# ボディ



生で聞けるとあってメディア向けの発表会でもあつたけど、みんな真剣に聞いていたのも印象的だったぞ。ロッキーオート3000GTの監修でもある細谷氏は試乗するというハフオーマンスも行ったのだ!!



▲8月14日はトヨタ2000GTにとって特別な日。その日に合わせてロッキーオートは今回メディアに向けた発表会を行った。そこで開発時の貴重な写真の展示や、型になるモックアップ木型を公開。こういった過程を経て開発され、ボディもオリジナル同様な華麗なラインを再現している



# トヨタ2000GT開発陣も揃った!!

石川編集長の  
乗ってみなきゃ  
わかんね-ッ!!

十  
プラス  
Daiの  
乗ってみなきゃ  
わかんね-ッ!!  
ロッキーオート  
3000GT編



当日は当時のトヨタ 2000GT 開発陣の細谷 四方洋氏、高木英匡氏、松田栄三氏も駆けつけて当時の開発への想いや苦労話、世界記録樹立時の秘話などを惜しげもなく披露してくれた。みなさん奢ることなく真っ直ぐなその姿勢はとても素敵で、こういった人たちだからこそ出来た名車だと実感させられました。やっぱり人が作り上げたクルマはいいね♪今の機械が作り上げていくクルマと違ってさ

## 試乗の機会を 狙うDai!!

あの～社長に聞いてみないと…走るのちょっと…  
By 関係者

ここがアクセル、ここがブレーキか?  
By Dai

すみません～どうされるんですかあ～  
By 関係者

自動車窃盗団にでもなった気持ちで、まわりに人が居なくなった瞬間にクルマに乗り込もうとした瞬間見つけた!!



試乗できないっていわれたけど どうにかして乗れないかなあ～  
By Dai

▲なんかテキトー言っただけで済ませず Dai!! 乗り込んでしまえばこちらのものと、操作方法を聞き出し、助手席に石川を招き入れて室内で撮影する2人を装う。敷地内程度なら乗ってしまえともう怒られるよりも、ロッキーオート 3000GT に興味津々な2人



石川も助手席乗れよ  
By Dai

このへんぐるっと回っちゃいましょう♪  
By カメラ石川

楽しいじゃん!!



みんな細谷さんの話集中しているからこの時間なら出来るかも…  
By Dai

▲貴重な話を聞きながら回りの様子をうかがう稲田大二郎 (Dai)。今回石川と一緒にこの発表会に乗り込んできたんだけど、今回は発表会なので試乗は無し!! Dai と石川は乗ってみたいと気が済まないの、ロッキーオート 3000GT のまわりに人が居なくなる機会を狙い、走ってしまおう!! という目論見!! かなり不良オヤジです



おっ、なかなかいい感じだよ～  
By Dai

### 協力:ロッキーオート

メディア発表会と言うにふさわしいプログラムを用意したロッキーオート・渡邊社長。今後もこの業界に話題を振りまいてくれるのは間違いないだろう。愛知県岡崎市小美町字殿街道 153-  
Tel0564-66-5488



▲ブルルンとエンジンを掛けて走り出す Dai。周りにいる人たちも唖然とする行為で会場は凍り付いていたようだったが、そんなことは気にしない!! 走り出した瞬間、この笑顔です

### やっぱりガランエンジン!!

▲小さいボディにパワフルなエンジンそして低重心という、クルマの運動性能の良さの見本のようなパッケージ。速度はさすがにそんなには出せなかったけど Dai は大満足! 「サスなどの動きも良いしやっぱり踏んでグワッとくる特性は最高」と終始ご満悦

ハイブリッドと違う  
乗り味を感じるぞ!!

そのスタイルの美しさと再現性はもう言うことはないくらい美しいロッキーオート 3000GT。前のバージョンがロッキーオートHV (ハイブリッド) だったから今度はガソリン 3000cc エンジンを積んだグランツリースモ。しかし、当日は、当時のテストドライバーである細谷さんが試乗するのみと基本的にメディアアは写真を撮るだけだった。が、それでは納得しないGワークスは Dai を連れて行けば何とかなるかと、一路ロッキーオートへ。開発陣の貴重な話を聞きながら、気持ちはロッキーオート 3000GT へ。隙を見計らいつつクルマに近づき試乗することに成功!!

走り出すとすぐに分かったのが足回りの違い。やはりRHVとはバランスも駆動方式も違うためハンドリングもとても素直で乗り心地も良く感じた。ATミッションなのでつまらないかと思っただけ、強烈に軽い車体のおかげで実に反応良くキビキビ走る。ま、20km/hも出せなかったからこれ以上のことは何とも分からんけど、蘇生の良さは実感できた!! 今度はこれ思いっきり走ってみたいね♪

21世紀究極のクルマ改造本!

G-works

ジーワークス

あの名車が復活!? GTR!!



# スカイラインハコスカ!!

## 特集 第1弾

2015

# 11

定価: 580円



### SEDAN

昭和43年式~

### HARDTOP



新企画

## 目白押し2

★ライト教室

★キャブライター列伝

### 車高調整

### パートII

RockyAuto



### 3000GT



### 無理やり乗った!!



### WEBER45

## 峠 最速!?



### 新都市伝説 Vol.3